

グミ・チョコレート・パイン (2007)

メディア 映画

ジャンル 青春 ドラマ 音楽

製作国 日本

色彩 Color

時間 127分

初公開日 2007/12/22

公開情報 東京テアトル

【キャッチコピー】

ノイズまじりの、純愛。

【解説】

大槻ケンヂの同名小説を、“ナゴムレコード”時代の盟友ケラリーノ・サンドロヴィッチ監督が映画化した青春ムービー。80年代を舞台に、自分は特別な人間のはずと思いながらも何もできず悶々とした日々を送る冴えない男子高校生の情けなくもいとおしい青春模様を綴る。主演は「夜のピクニック」の石田卓也、共演に「ケータイ刑事 銭形涙」の黒川芽以。

2007年の東京郊外。会社をリストラされ久々に実家に戻ってきた大橋賢三。彼は、届いていた手紙の中に、高校時代の同級生・山口美甘子の名前を見つける。手紙には“あなたのせいなのだから”のたった一行。意味が分からず、当時の親友ワカボンに連絡を取ると、美甘子が1年前に自殺したことを告げられる。事情が飲み込めず、もう一人の親友タクオとも再会した賢三。やがて彼の心は、21年前の高校時代に飛んでいく――。1986年。高校2年生の賢三は、タクオ、ワカボンと3人で自意識ばかり過剰な悶々とした日々を過ごしていた。そんなある日、賢三は薄汚い名画座で憧れの同級生、美甘子を見かける。思いがけず彼女が自分と同じ嗜好を持っていることに気をよくした賢三は、タクオ、ワカボンとバンドを組むことを決意する。

【クレジット】

監督 ケラリーノ・サンドロヴィッチ Keralino Sandrovich

企画 吉村知範

製作総指揮 谷口則之

エグゼクティブ
プロデューサー 小木曾仁

伊藤泰造

プロデューサー 岩下英雅
李柱勲
杉山剛

原作 大槻ケンヂ

『グミ・チョコレート・
パイン』
(角川書店
刊)

脚本 ケラリーノ・サンドロヴィッチ Keralino Sandrovich

撮影 小澤公則

美術 長谷川晃子

編集	斉藤和彦		
音楽	ゲイリー芦屋	Gary Ashiya	
テーマ曲	電気グルーヴ	Denki Groove	『少年ヤング』
照明	大賀章雄		
録音	中村雅光		
装飾	尾関龍生		
VE	角本輝夫		
助監督	窪田祐介		
出演	石田卓也	大橋賢三	
	黒川芽以	山口美甘子	
	柄本佑	山之上和豊	
	金井勇太	タクオ（小久保多久夫）	
	森岡龍	カワボン（川本良也）	
	高橋ひとみ	賢三の母	
	山崎一	賢三の父	
	犬山イヌコ	“自分BOX” Vo. ジャイガー	
	山西惇	“自分BOX” G. バイラス	
	みのすけ	隣のアパートの男	
	峯村リエ	タクオの母	
	浅野和之	タクオの父	
	中越典子	女教師	
	竹中直人	楽器屋	
	鈴木慶一	カメラ屋	
	田中哲司	レコード店店員	
	林和義	巡査	
	山本剛史	理科教師	
	内田春菊	窓口の女	
	ピエール瀧	丹波風の男	
	峯田和伸	AV男優	
	マギー	2007年のカワボン	
	甲本雅裕	2007年のタクオ	
	大森南朋	2007年の賢三	